

第 3 回区民会議審議概要（抜粋）（案）

【第 3 のテーマ「中原区制40周年を迎えて」 ア 区制40周年の取組】

- 川崎ものづくりブランドに認定されている区内製品、商品を積極的に展示して周知を図り、区の活性化に役立てたい。
- 区民祭に関係なく、火災報知器の設置義務の周知、点検等を行ってはどうか。
- 中原区にはワンランク上の飲食店が少なく、結果、市外へ消費者が流出している。
- 子ども専用の野球場を建設し、大会の決勝戦等を催行してみたい。
- ヨーロッパの町並みよろしく、自転車専用道路を整備すれば自転車事故が減るのではないか。
- 大病院から転院する際の地元町医者が非常に少ないように思う。
- 区長との写真撮影、語り合う場を設けることにより、区役所の現状を周知することができるのではないか。
- 中原区に長く住んでいる高齢者は、そのよさが当たり前となっており、改めて考える機会が少ない。広報や冊子を通じて何か提案できないものか。
- 誕生がなければ今もないことを再認識するため、中原の誕生や歴史を先人に学ぶべきではないか。
- 区制40周年音楽祭を開催すれば、区民も大勢来てくれるのではないか。
- 区民会議委員20名がそれぞれ一押しをの場所を写真におさめ、計20枚の中原区版「絵はがき」を作成し、転入者等に配布してみてもどうか。
- 向こう三軒両隣意識が希薄化する現状において、明るく暮らしやすい安全・安心なまちづくりの観点から、災害時の安否確認、救出、避難誘導をいかに無理なく行うか、具体的なシミュレーションをもって考える必要がある。
- 再開発後のあり方としては、教育、文化、福祉、生活環境、町会・自治会組織、社会福祉協議会、民生委員協議会等、バランスのとれたまちづくりが必要である。
- 区制40周年記念事業では、有名なバンドや歌手を呼び、記憶に残る、気も心も明るくなるようなイベントとする必要があるのではないか。
- 昔と比べ現在は、経済的、肉体的、精神的、人間関係等、心が貧しくなる要因が多い中、東日本大震災での未曾有の被害を見るにつけ、向こう三軒両隣、お互いさまの精神、思いやり、いたわりの優しい心が一番大切な心根と考える。あいさつ運動、交流会、イベント等できずなを深め、相手を尊敬するよう

な優しい心を大事にすべきである。

○区役所隣には、45階建て、450戸のマンション、13階建て、154棟の賃貸マンションが、また、南武線の向こう側にも10階建て程度の賃貸マンションが建設されるそうである。転入者の増加により出生率も高くなる現状を踏まえ、変わりゆく中原として、将来的な開発計画構想図等を区制40周年記念写真集にプラスアルファとして掲載してはどうか。

○子どもたちに区の未来像を描いてもらってはどうか。

○健康であるからこそ、笑顔のあふれる町、安心して暮らせる町が形成できるのだから、健康を保つための食育に関するイベント、行事として子育てふれあいカフェを開催したい。幼児期から健康に気を使うことにより、年を重ねても心豊かに暮らせる旨を根底に持っていきたい。

○町会で防災行動マニュアルを作成することで、安心な町がつくれるのではないかな。

○川崎市では、川崎再生フロンティアプラン等で各区における取り組みが掲載されているが、1つ1つ読み込まなければ中原区における取り組みは理解できないので、中原区のみデータを抽出し、10年先を考えるための基礎データとして使えるようにしてはどうか。

○区民会議として祭りを企画するのではなく、中原の歴史や特徴、未来像、コミュニティなど、生活を感じるきっかけを提供できるような場所をつくれないうだろうか。先住民と新住民が触れ合える場を区制40周年として企画してみたい。

○市民報告会を行うのであれば、シンポジウム形式にして、変わりゆく中原のコミュニティについて勉強する会とし、人と人とのつながりやふるさとを愛する気持ちを持ってもらえるような機会としたい。

○町なかは防犯等に関するポスターばかりなので、子どもたちに自分の町の夢や変化を描いていただくような取り組みを設けてはどうか。

○近年、若者たちは消極的な傾向にあるとのデータも出ている。ただ、一部の人たちはすごく元気なので、そうではない人たちがその輪の中に入っていけるような取っかかりを工夫すべきではないかな。

【「中原区制40周年を迎えて」 イ 区民祭について】

○区民祭は中原区一番の祭りであり、区制40周年を祝う祭りとなれば、区民会議がかかわらない理由は見当たらないが、区民祭には歴史があるので、大幅に祭りの構造を変えるようなかわり方は慎むべきである。

資料 1

○区民祭の中に区制40周年に特化したブースや区制40周年を実感できるようなステージを設けてはどうか。

○区民祭はコミュニティを図る上で大変有効な場所と思うので、ぜひ区民会議としてかかわっていただければと考える。

○区民祭と福祉まつりは別物との視点が感じられる。しかし、町会役員にも民生委員はいるし、社協の方もいる。それらが協調すれば行政も協調するし、区民会議などはその先頭に立って協働できると思う。区民祭でも何でもどんどん顔を出し、区民会議のありようを訴えていく必要があるのではないか。

○今年ほど区民祭の賛助会費を集めるのに苦労した年はなかった。事業主や商店主からは、賛助会費は一体どこに使われているのかとの質問を受けるときもある。区民にアンケートをとり、区民祭が区民に与える影響を把握し、そのあり方、助成金や賛助会費のあり方をもう1度しっかりと検討すべきである。